

胃カメラの がん検診が 人気です！

なぜなら、
町の補助があって
とっても
お得だから～♪



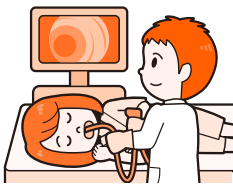
▷問い合わせ 健康づくり係
(☎223-3533)



「がん」は年齢に伴ってかかる確率が高くなります。最近では、2人に1人が生涯で一度はがんにかかるかと推計されています。

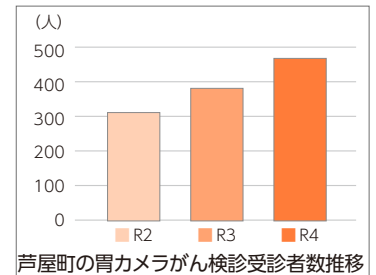
しかし、日頃の生活習慣や生活環境を見直すことでがんを予防することもわかってきました。予防の大切さに加え、がん検診を受けて早期発見することも重要です。がんの発症初期段階では自覚症状がないものがたくさんあります。「自覚症状がないから大丈夫」ではなく、定期的ながん検診を受ける習慣をつけましょう。

1 胃カメラ検診の受診者数が増加中



芦屋町では近年、胃カメラの受診者が1年に約100人ずつ増加しています。ほかのがん検診と比べて増加率が特に高くなっています。

毎年がん検診を受ける習慣がない人は、今年度は人気の胃カメラを受診してみませんか。



2 胃カメラが一番お得ながん検診(約1万3000円もお得)

通常、胃カメラを受診すると1万5000円以上かかりますが、町では、補助金があるため2300円で受けることができます。



がん検診
ホームページ

3 胃がん検診の種類

胃がん検診にはバリウムを使用した胃透視と胃カメラの2種類があります。経験者から話を聞いて、受診に不安を感じる人のために検査方法の説明をします。あなたに合った方法を選んでください。

	胃透視	胃カメラ
費用	800円	2300円
検査時間	10分程度	30～60分程度
分かること	胃全体の形状の異常、 がん・潰瘍・ポリープなどの粘膜病変 【精密検査が必要と判定が出た場合】 精密検査のために胃カメラ検査を受診する	胃の中の異常(色・凹凸・形状の変化) がん・潰瘍・ポリープなどの診断 ※胃カメラは精密検査なので、要精密検査 の判定が出ることはない
そのほか	飲むバリウムの量 150～200ml程度(コップ1杯)	鎮静剤を使うので、眠っている間に検査が 終わる

※がん検診による体への負担は個人差があります。心配な人は問い合わせてください。

4 芦屋町のがん検診

胃がん検診以外にもがん検診を行っています。詳しくは、今月号に折り込んでいる「人生100年時代です!! 健診・検診を受けて、健康寿命を延ばしませんか?」を見てください。

認知症と向き合う 世界アルツハイマー月間

世界アルツハイマー月間（9月）に合わせ、認知症の理解を深め、認知症に関する取り組みを紹介します。

認知症とは？

さまざまな脳の病気により、脳の神経細胞の働きが徐々に低下し、認知機能（記憶、判断力など）が低下して、社会生活に支障をきたした状態をいいます。

認知症の予防って？

認知症の多くを占めるアルツハイマー型認知症や血管性認知症は、生活習慣病との関連があるとされています。

例えば、バランスの良い食事を心掛けたり、定期的な運動習慣を身に付けたりと、普段からの生活管理が認知症のリスクを下げると考えられています。

町では、脳と体の両方の機能を同時に使った複合運動（コグニサイズ）により認知症の発症を遅らせることを目的とした認知症予防教室を行っています。

認知症かな？と思ったら

認知症の早期診断・早期治療につなげるため、認知症と思われる症状に気付いたら、一人で悩まず、かかりつけ医や地域包括支援センターに相談してください。

地域包括支援センターには、認知症地域支援推進員を配置し、認知症あんしんガイド（認知症ケアパス）などをもとに相談対応を行っています。福岡県が設置する若年性認知症サポートセンターなどの相談窓口もあります。

また、認知症の初期の段階で本人や家族に関わり、適切な支援につなげる認知症初期集中支援チームも設置しています。

認知症が進行してしまい、行方不明の心配が出てきたら？

認知症の人が外出後、行方が分からなくなった場合の早期発見や事故の未然防止のため、認知症高齢者等見守りシールを無料で交付しています。よく着用する衣類にアイロンで貼り付けて使用できますので、活用してください。

また、折尾警察署と遠賀郡4町・中間市の関係機関などが連携し、行方不明になった人を速やかに保護できるようにする「はいかい高齢者等 SOS ネットワークシステム」がありますので、心配な時は登録してください。

認知症の人や家族の人たちと話ができる場所は？

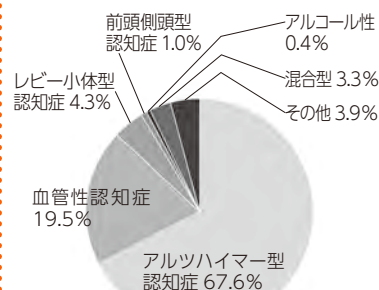
認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉の専門職の人など誰もが気軽に集まれる場所としてオレンジカフェ（認知症カフェ）を行っています。

▷問い合わせ 地域包括支援センター（福祉課内）
（☎223-3581）

アルツハイマー型認知症とは

認知症の原因として最も多いのがアルツハイマー型認知症です。もの忘れから始まることが多いですが、失語（物の名前がわからない）や失認（目を見た情報を形として把握し難い）、失行（手足は動くが、今までできていた動作ができない）などの症状があります。

認知症の原因となる病気



出典：厚生労働省「都市部における認知症有症率と認知症の生活機能への障害への対応」（平成25年5月報告）

